

【会議要録】

令和6年度 第2回小郡市スポーツ推進審議会

日時：令和6年11月25日（月）9時58分～11時12分

会場：小郡市役所 北別館2階 大会議室

開会の宣言：司会進行（事務局）出席者そろった時点にて開会宣言、
資料の確認説明

1 会長あいさつ

国のスポーツ計画が大きく変わってくるので今後のスポーツ推進基本計画の見直し検討が必要となる為、審議にご協力をお願いします。

2 出席者自己紹介（出席委員8名、事務局6名）

3 議題（議長 会長にて進行）

（1）第2期小郡市スポーツ推進基本計画（案）

事務局説明

P6 課題 市民アンケート（①～⑥）

P16 課題 小・中学生アンケート（下段①～③）

P17 団体アンケートは、小郡スポーツ協会および加盟団体、区、校区まちづくり協議会などの関係団体から回答があった。

共通の課題として、会員の高齢化、新規入会者が少ない為、会員が少なくなっている、種目の指導者が不足していることがあげられた。

P20 基本理念（第1期「くらしと密着したスポーツのまち おごおり」から第2期「暮らしの中にスポーツが息づき、健やかさとつながりで笑顔あふれるまち・おごおり」に変更）

P23 基本施策

具体的施策 資料A3用紙、今後毎年度ごとに、各関係課より提案をもらって作成していく。

委員…第6次総合振興計画とリンクして、全庁的に取り組む流れにすると、よりやりやすくなると思う。P20基本理念について、スポーツへの導入や地域に密着した取り組みに加えて、競技スポーツも含めての振興を全体的に考えると、小郡市のスポーツがもっと幅広いものになる。策定委員会での討議はどのようなものがあつたか。

事務局…第1回策定委員会では、本市の現状や課題についての分析を計画（案）にもっと全面的に出した方がよいという意見があり、その部分を

大きく変更した。

第2回策定委員会では、障がい者スポーツなど、セパレートになったものを一緒にするようなスポーツイベント等が考えられないか、また、そのような表現ができないかという意見があった。第1期の理念は引き継ぎ、第2期はもっと発展させて分かりやすく表現できるよう校正を重ねている。

委員…部活動のボランティアについて、小都市の場合、競技団体が関わるのか、一般スポーツの人が関わるのかがよくわからない。

ボランティアに参画する人について、ある自治体では、ラジオ体操に高齢者も参加している。また、福教大OBが陸上道具を持って陸上トレーニングの指導をしている。

地域でスポーツを支える人材を掘り起こし、組織化する必要がある。支える人はどんな活動をするのかを明示し、地域におられる人材をいかに掘り起こすかが課題であろう。

令和8年度の予算獲得に向けて、具体的施策にあげていく必要がある。

委員…具体的施策について、できたものについて実のあるものにするのは大賛成である。予算取りできるのに何が良いのか。アンケートをとられているが、子どものスポーツや学校開放施設についての記述が具体的施策に入っていない。策定委員に入っているメンバーの所管部分が入り、具体的施策を充実したものになればよいと思う。

事務局…支える側についての記載は、施策体系にある（P22柱1～柱4）。

実施計画を作り、予算を盛り込むなどすることが今後の課題である。第6次総合振興計画とスポーツ推進基本計画との関係では、スポーツ推進基本計画が後に策定されるので、第6次計画の後期に反映させるという補完関係になる。

委員…具体的施策の柱2の②に、障がい者スポーツの支援があげられている。障がい者スポーツは、支える人がいないとやっていけない。具体的施策なので、具体的にどのような支援を考えているか。

委員…パラ大会になると、1課だけでは対応が難しいと思う。担い手を作っていくという視点は広く持っておいた方がよいと考える。

委員…フライングディスクは道具をそろえて健常者と障がい者が一緒にできる例として取り組むことできるかなと、構想はある。

事務局…クロスロードスポーツ・レクリエーション祭（久留米市、鳥栖市、基山町、小都市）に障がい者にも参加していただく（声掛けする）計画が令和7年度からある。フライングディスクもディスクを拾う役などスタッフが必要なので、やっていく中で課題を1つずつ解決しながら輪を広げていきたい。

委員…フライングディスクをする際、ボランティア連絡協議会にスタッフを

お願いしている

委員…障がい者・健常者スポーツについて、スポーツフェスタin OGORIに垣根なく参加できるとよい。

部活動について、具体的施策にあった方がよいと思う。小都市も実証事業で取り組んでいると思うので、それが具体的施策に入るのではないか。

事務局…コーディネーターはいるが会合の数が少ない等、行き詰っているため今後進め方を検討する必要がある。

委員…ある自治体では、中学校4校を集めて、中学校の先生が指導する「コミュニティスクール」がある。誰がサポートしてくれるのか、ボランティア登録、人材バンクが必要である。

事務局…学校には、「私がみます」という人はいるが、会合の中で「やります」ということは言いにくい状況であり、まだ混とんとした状態にある。

委員…スポーツの指導者を登録制にして、それを必要なところに充てていくという形はどうか。

委員…校区とスポーツ推進委員との関係がうまくいくとよい。

事務局…スポーツ推進委員の活動は校区や区などの活動支援が少しずつ広がっている。

委員…モルックの次は何か考えているのか？

事務局…まだ考えていない。

委員…グラウンド・ゴルフ、ペタンクの道具はある。新しいものをするのではなく、子ども・高齢者も一緒に参加できるスポーツを継続していくことを中心に地域スポーツは考えていきたい。

委員…競技の選択肢を増やしていくという意味で提言している。

委員…小都市では校区で動くことが多いと感じる。全く関係ないところでやってもいい。やりたい人だけでやるのも良い。地域活動に参加していないけど、スポーツをやる人もいるので、人材等の登録は広い視野で願いたい。

事務局…部活動を誰が担うか、どこが動くか。先進自治体では、キーマンがいた。3年間は、クレームがありながら進めてあった。

委員…土日に誰が指導するかを決めないといけない。どれだけ集めることが出来るか。ボランティア登録して研修するということが必要である。

委員…体育館やグラウンドを借用しスポーツ活動をしている人達に人材バンクに登録してもらえるのではないか。

委員…予約システムはどうなっているのか

事務局…公共施設をオンラインでつなぎ、使用料を支払うという準備をしている。近日中に広報があり、早い段階でできるようになる計画である。

委員…アンケートには、学校施設修繕、申込方法などあった。P23基本施

策4に反映して欲しい。

事務局…予約システムについては、現在、小中学校に伺い担当の先生と打ち合わせ中である。利用者のマナーや施設の整備について意見があり、学校教育課や現場の先生方との連携や責任のあり方など積極的に動いている。修繕については、優先順位をつけて進めている。

委員…アリーナの基本計画に対し、障がい者スポーツについて意見を述べたいと思う。

事務局…新体育館について、防災施設等、基本設計に入っている。スポーツ協会やその加盟団体に現状の聞き取りをしている。

委員…アーチェリー50mあるとよい。障がい者スポーツが出来る場も作ってもらえないと意欲が半減する。

委員…全部反映できるとよいが、予算、広さがあるのでなかなか難しい。

4 今後の予定

第3回審議会は、令和7年2月下旬を予定している。

閉会 11 : 12